

# 令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.1

【令和5年3月31日時点】

団体名		公益財団法人吹田市国際交流協会				所管部室（課）名		都市魅力部文化スポーツ推進室			
所在地		〒565-0862		吹田市津雲台1丁目2番1号							
設立年月日		平成3年3月12日			代表者職・氏名		理事長 近藤 佐知彦				
基本財産		200,000,000円		①本市出資金（本市の出資割合）		円（ %）					
				②本市出捐金（本市の出捐割合）		200,000,000円（ 100 %）					
設立目的	吹田市と連携をはかりながら市民主体の国際交流活動を進めるとともに、地域に根ざした国際相互理解や国際化に資する事業を推進することにより、異なる文化や価値観を有する人が安心して暮らせる人権尊重を基調とした地域社会づくりに寄与することを目的とする。										
事業内容	(1) 国際理解及び国際化に関する啓発及び研修 (2) 市内に居住又は滞在する外国人に対する支援 (3) 市民による国際交流活動及び国際協力活動に対する支援 (4) 国際化の担い手の育成に関する事業 (5) 国際交流に関する情報や資料の収集及び提供 (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業				(具体的な事業内容)						
					外国人ワンストップ相談センター運営/多言語情報発信/行政・国際交流情報の収集及び発信/国際交流ボランティア活動支援/国際交流団体等支援連携/語学教室/多文化共生講座/国際理解授業/防災減災事業/日本語教室/子育て中の外国人支援/外国人のキャリアアップにつながる支援/外国にルーツをもつ子どもの居場所づくり・学習支援/コミュニティ通訳ボランティア行政窓口・病院同行事業/コミュニティ通訳ボランティア養成・スキルアップ講座						
		合計（市職員及び元市職員以外も含む。）						合計（元市職員以外も含む。）			
				うち市職員	うち元市職員					うち元市職員	
役員数 (人)	理事 (取締役)	常勤	0	0	0	職員数 (人)	常勤	3	0		
		非常勤	8	1	0		再任用(※1) 常時勤務	0	0		
	監事 (監査役)	常勤	0	0	0		再任用(※1) 短時間勤務	0	0		
		非常勤	2	0	0		非常勤	0	0		
65歳以上の役員数(※2) (人)		5	/	0	0	臨時 雇用員	8	/	0		
評議員 (人)		11	0	0	0	65歳以上の職員数 (※2)		0	0		
元市職員に対する報酬や給与水準が、市再任用職員の水準を上回る。(いずれかに○)						該当 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">非該当</span>					
【該当する場合のみ記載】内容											
元市職員に対して退職金を支給している。(いずれかに○)						該当 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">非該当</span>					
【該当する場合のみ記載】内容											

※1 再任用職員とは、60歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている職員をいう。

※2 65歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている役員数又は職員数。

令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.2

【令和4年度決算】

団体名		公益財団法人吹田市国際交流協会		所管部室(課)名		
				都市魅力部文化スポーツ推進室		
財務状況(円)	損益計算書	総収入	49,113,876	貸借対照表	資産の部合計	214,052,839
		(うち市受入金)	21,859,664		負債の部合計	13,870,923
		(その他)	27,254,212		(うち有利子負債)	
		総費用	51,071,338		正味財産合計	200,181,916
		経常損益	△ 2,156,708		(うち一般正味財産)	181,916
		当期損益	△ 1,776,525			
市から団体への支出(円)				主要内容、算出根拠等		
	フロー	補助金	8,000,000	吹田市国際交流協会事業補助金		
		委託料	13,859,664	吹田市多文化共生ワンストップ相談センター整備及び運営業務/在住外国籍市民等のための日本語教室運営業務/外国籍市民等のための行政窓口同行運営業務		
		指定管理料				
		その他				
		計	21,859,664			
	ストック	貸付金残高				
		債務保証残高				
		損失補償残高				
		出資金(出損金)	200,000,000	吹田市出捐金		
		その他				
		計	200,000,000			

# 令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.3

【評価対象期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

団体名	公益財団法人吹田市国際交流協会	所管部室(課)名
		都市魅力部文化スポーツ推進室

## 1 団体による評価

### (1) 運営に関する評価

◎→できている      ○→概ねできている  
 △→一部できている      ×→できていない

指針の項目	評価項目	評価	評価の理由
組織及び 人事管理	規程等を適切に整備している。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規程の整備や労務管理は、随時社労士と相談しながら適切な対応をしている。同一労働同一賃金に沿った就業規則を制定した。現在は賃金・給与規程を改訂中である。</li> <li>・事業規模に対して、適正な体制づくりに努めたが、職員全員が契約職員と臨時雇用員という状況となっている。</li> <li>・採用は、事業規模や経営状況に応じ募集をした。原則公募とし、採用は職員と理事長あるいは副理事長と複数によって決定し、公正性と透明性を確保している。</li> <li>・理事、評議員、監事は、全員報酬及び退職金の支給はない。</li> <li>・人件費の削減に努めた。</li> <li>・他機関の関連事業や研修に積極的に参加を促し、組織内の職員研修も実施した。</li> </ul>
	団体の事業規模に応じた簡素で効率的な執行体制としている。	○	
	団体の事業規模や経営状況に応じた役員数及び職員数としている。	○	
	採用における公正性・透明性を確保している。	◎	
	団体の経営状況に応じた役員報酬や職員給与としている。	◎	
	職員研修の充実に努めている。	◎	
事業運営	事業の必要性や意義を見直しつつ、効果的、効率的な事業運営を行っている。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の振り返りをしっかり行い、効果的・効率的な運営に努めた。</li> <li>・事業参加者にアンケートを実施し、事業の内容や方向性について客観的に捉えられるよう務めた。</li> </ul>
	事業を継続的に点検し、市民ニーズに沿ったものとしている。	◎	
財務管理	中・長期的な経営計画を策定している。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に中期アクションプランを策定しているが、経営計画とはなっていない。</li> <li>・コロナ禍で著しく減少した自主事業収益の増収に励んだ。</li> <li>・会計ソフトやPC及び周辺機器のリースの見直し等、可能な限りの経費削減に努めた。</li> <li>・顧問の公認会計士と相談し、適正な財務管理を行った。</li> <li>・会計事務所に依頼して、専門家による前年度の会計監査を実施した。</li> </ul>
	自主財源の確保に努めている。	◎	
	各種経費を可能な限り抑制している。	◎	
	最も確実かつ有利な方法で財産の管理運用を行っている。	◎	
	外部の専門家による監査を活用するなど監査体制の強化に努めている。	◎	
情報公開	団体の経営状況、事業計画を公開している。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営状況、事業計画、事業報告、役員名簿、議案概要は、ホームページで公開している。</li> <li>・ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを利用して情報発信を行った。</li> <li>・所管の指示と弁護士の助言に従い、個人情報保護に関して、適正に対応している。</li> </ul>
	団体の役員名簿、会議録等を公開している。	◎	
	ホームページをはじめとする多様な手段で情報提供を行っている。	◎	
	個人情報保護に関する措置を適正に講じている。	◎	

## 令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.4

【評価対象期間: 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

団体名	公益財団法人吹田市国際交流協会	所管部室(課)名 都市魅力部文化スポーツ推進室
-----	-----------------	----------------------------

### (2) 事業に関する評価

#### ア 指標による評価

事業名	活動指標	令和4年度目標	令和4年度実績	(参考) 令和3年度実績
	成果指標			
市民主体の国際交流・国際協力	SIFA Times発行部数	7,000部(年4回)	7,000部	7,500部
	ホストファミリー交流家庭医数	32家庭 (令和元年度の半数)	0家庭	0家庭
国際課推進の人づくり事業	語学教室参加者数	516人 (令和元年度並み)	364人	415人
	異文化理解・啓発事業数	34回 (昨年度並み)	25回	34回
在住外国人の支援	日本語学習事業の参加者数	3,991人 (昨年度並み)	4406人	3,991人
	コミュニティ通訳ボランティア同行事業	128件 (昨年度並み)	201件	128件

#### イ 指標で示すのが困難な場合

事業名	活動内容	成果内容

### (3) 今後の取組方針

※(1)において◎以外とした事項、課題となっている事項について重点的に記載

<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会運営検討ワーキンググループにおける検討に沿って経営状況を改善し、安定した協会運営と事業の充実に努める。</li> <li>・研修等の機会を増やし、吹田市及び地域のニーズを的確に把握し事業に反映させていける人材の育成に努める。</li> <li>・外部の専門家の助言等や内部研修を通して、組織基盤の強化を図る。</li> </ul>
---

# 令和5年度外郭団体活動状況評価シート No.5

【評価対象期間: 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

団体名	公益財団法人吹田市国際交流協会	所管部室(課)名
		都市魅力部文化スポーツ推進室

◎→できている      ○→概ねできている  
 △→一部できている      ×→できていない

## 2 市による評価

### (1) 団体の運営に関する評価

事項	評価項目	評価	評価の理由
団体の存在意義	市民福祉の向上に資する事業を行っている。	◎	協会の広い人脈や豊富な情報を活用しながら、市の委託事業や補助事業、自主事業を展開しており、吹田市多文化共生推進指針に基づく施策の推進に寄与しているため。
	事業の成果が市の施策の推進に貢献している。	◎	
事業実施主体としての妥当性	市が直営で行うよりも効果的かつ効率的にサービスを提供している。	◎	令和4年10月から「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」を開設するなど、効果的かつ効率的に、外国人等への支援に寄与するサービスを提供しているため。
	多くの市民の理解が得られる活動を行っている。	◎	

### (2) 団体の自己評価に対する市の見解

就業規則を改訂し、今後は賃金・給与規定を改定予定など、規程の整備や労務管理は適正に整備されている。組織運営や人事管理についても、採用は必ず公募するなど、公平性・透明性が確保されている。

財務管理については、事業の再編や整理等を行うことにより、中・長期的な経営計画の見直しが必要であると認識しており、更なる経費抑制や財源確保の方策について検討されたい。

また、ホームページでの経営状況・事業計画・役員名簿・議案概要等の公開や、通訳同業等における倫理規定の整備など、情報公開や個人情報の保護については、適正な措置が講じられている。

事業については、外国人等の増加や多国籍化等による支援ニーズの多様化に対応するため、令和4年10月から行政サービス情報等の提供及び相談を多言語で行う「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」を開設し、市内在住外国人等への支援の充実を図り、効果的・効率的な運営ができている。また、令和3年度に引き続き実施したボランティアによる日本語学習支援のオンライン学習については、参加者の多様なニーズに対応したことによるものであり、高く評価している。

### (3) 市の関与に関する今後の方向性

外国人等の増加や多国籍化等による支援ニーズの多様化に対応するため、子育て、教育、防災関連など今後重点的に取り組むべき事業については、施策の方向性を定めたくて市庁内関係部署や関係機関と連携しながら実施する必要がある。今後は、外国人等を取り巻く現状やニーズ等の変化を踏まえた事業内容を検討するなど、柔軟に対応していく必要がある。

今後も、これまで協会が蓄積させたノウハウを活用し、市と協会が連携することで、市内在住外国人等の全ての人が安心して住むことができるまちづくり、多文化共生社会を推進する。